

2024年9月27日

明治安田アセットマネジメント株式会社

「ステュワードシップ活動の振り返りと自己評価」の公表について

明治安田アセットマネジメント株式会社（代表取締役社長 中谷 友行、以下「当社」）は、「責任ある機関投資家」の諸原則《日本版ステュワードシップ・コード》を受け入れており、同原則・指針に基づくステュワードシップ責任を果たすための活動の自己評価を定期的実施し、ホームページにもその概況を掲載して広くお客さまに開示を行っております。

今般、2023年度の「ステュワードシップ活動の振り返りと自己評価」を以下のとおり公表しましたのでお知らせします。

URL: <https://www.myam.co.jp/about/stewardship.html>

今回のご報告においては、当社のステュワードシップ活動をより分かりやすくお伝えする観点から、主に以下の記載を追加しております。

《日本版ステュワードシップ・コード》 原則 4 関係	・当社独自の ESG 対話*に関して、対話先企業による対応の進捗状況を開示 (P8~9)
原則 6 関係	・議決権行使結果の開示に関して、エクセルでの開示の開始や、顧客の議決権行使基準が当社の基準とは異なることを背景とした不統一の行使の開示について説明 (P16)
参考	・「The Net Zero Asset Managers initiative」における 2030 年中間目標の達成に向け、多排出企業等との対話の強化を進めていく旨およびその内容を説明 (P21、24)

今回の自己評価結果も踏まえて、今後もステュワードシップ活動のよりいっそうの高度化に努めてまいります。

以上

* 当社の ESG 対話は、投資先企業との間で毎年 1 回実施しているものであり、独自の「ESG 分析・対話シート」を用いて、ESG 等の非財務面についての課題認識を投資先企業と共有し、その解決を働きかけています。「ESG 分析・対話シート」は、気候変動、自然資本、人的資本、サプライチェーンマネジメント、取締役会による監督の実効性等の重要な ESG 課題について、投資先企業の取組みを分析・記載したものです。